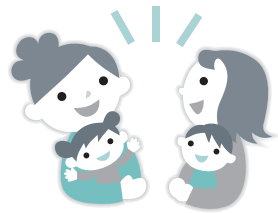




# 地域で子育て!



近年、急速に進む少子化や核家族化などにより、子ども同士がふれあったりお母さん同士が交流したりできる機会は少なくなってきました。そのような中、地域に住む人たちが自らの手で、子育て中の親子と交流を深め合うことのできる場を作りました。今回は、その活動を紹介します。



▲にぎわいを見せる「じゃんけんぽん」の会場



▲受け付けをする坂本さん(右)と芳村さん(左)。「楽しみにしていました」との声に笑みがこぼれます

親子同士で気軽に交流を楽しめる場が近所にほしい……。そんなお母さんたちの要望をかなえる場が、五月二十二日、北地区に誕生しました。その名は「子育てひろば じゃんけんぽん」。同地区の民生委員児童委員協議会と福祉のまち推進センターが協力して作りました。地域の人たちが主催する子育ての場は、区内では初めてのものです。きっかけは、地域のお母さんたちが身近な交流場所を求めていることを、同協議会の坂本繁子さかのもとしほさんと芳村紀子よしこのりこさんが感じ取ったことです。早速区役所と相談して、南区で開かれていた地域の人たちと親子の交流の場を見学しました。「そこでは親子もスタッフもとても生き生きとしていました。そう



地域で生まれた  
交流の広場